薬草教室だより

平成30年11月15日発行第8号

東京都薬用植物園 〒187-0033 東京都小平市中島町 21-1 Tel042(341)0344

風邪・インフルエンザを 漢方はどう治す

大野クリニック 院長 大野 修嗣

【講師略歴】

大野 修嗣(おおの しゅうじ)

1947年 埼玉県比企郡生まれ

1973 年 明治薬科大学製薬学科卒業

1980年 埼玉医科大学医学部卒業

1980年~1982年 同大学病院にて内科研修

1982年 同大学病院第2内科助手

1984年 埼玉医科大学膠原病外来 および 東洋医学外来担当

1990年 医学博士取得

1990年~1991年中華人民共和国 山西省太原市

山西省人民医院中医科へ1年間留学

1992年 埼玉医科大学第2内科講師

(膠原病外来、東洋医学外来担当)

1996年 埼玉県比企郡にて 漢方 大野クリニック開業

2001年6月~2005年5月

日本東洋医学会 副会長

現在 大野クリニック院長

国際東洋医学会 理事明治薬科大学客員教授

埼玉医科大学第2内科非常勤講師

日本大学医学部非常勤講師

学会活動

日本東洋医学会 評議員・専門医・指導医

日本リウマチ学会 評議員・専門医

日本アレルギー学会 功労会員 日本内科学会 認定内科医

専門分野

内科、リウマチ・膠原病、アレルギー、漢方医学

風邪・インフルエンザを 漢方はどう治す



《傷寒論》 時間軸をもった治療学

2018年11月15日

傷寒論 金匱要略 (傷寒雑病論)

張仲景 和平元年生(AD150) 望診で何年も後の病気と死を言い当てた

「余の一族は、もともと二百人にあまるほどいたが、 建安元年(AD.196)から10年もたたないのに、 死亡するものがその3分の2に達した。 年若くして死んでゆく人々を救う手段のなかったことを嘆じ、 発奮して『傷寒雑病論』を著した……」

傷寒論の六経理論(六病位)



ハンス・セリエのストレス学説と 傷寒論

勿今m			
警告反応期	抵抗期	疲弊期	
交感神経緊引			
	*		
副交感神経緊	張		
太陽病期	少陽病期·陽明病期	太陰・少陰・厥陰	
陽病期		陰病期	

熱性疾患 陽病期 病態と処方

病期	病態	代表的処方
太陽	悪寒・無汗・ふしぶしの痛み 後背部のこり・頭痛・浮脈	葛根湯 麻黄湯参蘇飲 川芎茶調散
陽明	稽留熱・弛張熱・熱厥 口渇・尿量減少・便秘 黄舌苔・大有力な脈・心下痞鞕	白虎加人参湯 大承気湯 大黄牡丹皮湯
少陽	往来寒熱·心煩·食欲不振·嘔気 白舌苔·沈弦脈·胸脇苦満	小柴胡湯 柴胡桂枝湯

熱性疾患 陰病期 病態と処方

病期	病態	代表的処方
大陰	体力消耗·気力減退·貧血様 悪寒·悪心·嘔吐·下痢	人参湯 大建中湯
少陰	全身倦怠感・悪寒・四肢の冷え 食欲不振・下痢・顔面蒼白 微細弱脈	麻黄附子細湯 真武湯 附子理中湯
厥陰	完穀下痢(下痢清穀) 精神不穏 四肢の厥冷 顔面のほてり	四逆湯 茯苓四逆湯 (=人参湯+真武湯)

葛 根 湯

〔生薬〕 葛根 麻黄 桂枝 芍薬 大棗 甘草 生姜

葛根・芍薬で筋緊張を緩和 麻黄・桂皮で温めて発汗 大棗・甘草・生姜は補脾益気

〔目標〕 悪寒 無汗 項のこり

[勘所] 風邪の初期 解熱剤ではない

[応用] 肩こり 頭痛 三叉神経痛 産後の乳汁分泌不足 鼻下・口周囲の糜爛 耳鳴 結膜炎 中耳炎



症例 27歳 男性

〔主訴〕 頭痛

〔現病歴〕 昨日の朝から咽頭痛が出現. 今朝になり

頭痛,咳嗽,鼻汁,腰痛,38.8℃の発熱も出現

〔身体所見〕 体温38.6℃. 血圧123/68mmHg, 脈拍102/分

咽頭発赤顕著. 胸腹部異常なし

〔検査〕 インフルエンザキット陽性(A型)

症例 27歳 男性

[漢方所見]

望診:顔面紅潮, 発汗

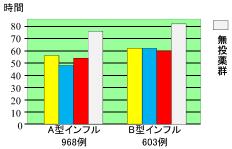
問診:咽頭痛は軽減. 今は**頭痛, 咳嗽, 腰痛**が辛い 今朝から**悪寒**が強い. 食欲あり, 胃腸系問題なし

切診:浮緊数脈 腹部に軽い発汗

〔処方〕 麻黄湯

[経過] 発熱は次の日の午後には軽快 さっぱりしたので出勤してよいか、と.

オセルタミビル(タミフル) ザナミビル(リレンザ) 麻黄湯 のインフルエンザに対する解熱時間の速度 (日本臨床内科医会)



インフルエンザと漢方

- ✓ 抗ウイルス薬と併用
- ✓ 抗ウイルス薬は5日間
- ✓ 漢方薬は症状消失まで

症状改善までの期間短縮

症状改善まどの期间短縮 感染後遷延性症状の緩和

症例 32歳 男性 主訴:ふしぶしの痛み

〔漢方所見〕

顔面紅潮 全身の発汗

舌診:舌質紅,歯痕(±) 問診:全身痛,咽頭痛,熱感

咳嗽なし 便通に異常なし

切診 :浮弦数脈 腹力良好, 臍上悸

麻黄湯

傷寒論

「太陽病、頭痛、発熱、身疼、腰痛、骨節疼痛、 悪風し、汗なく喘する者は、麻黄湯之を主る」

〔生薬構成〕 麻黄杏仁 甘草 桂皮

〔使用目標〕 悪寒 無汗 関節痛

〔証〕 太陽病期実証

〔臨床応用〕 風邪・インフルエンザの初期

喘息 関節リウマチ アレルギー性鼻炎 乳児の鼻閉 悪寒・発熱・頭痛 無汗 咳嗽 関節痛 腰痛

インフルエンザの使用漢方薬

(インフルエンザが確定した120症例)

処方	例数	病態
麻黄湯	73例(60.8%)	悪寒・無汗・関節痛
桂麻各半湯	18例(15.0%)	悪寒・発汗・関節痛
桂枝二越婢一湯	8例(6.7%)	熱感•発汗
葛根湯	7例(5.8%)	悪寒・無汗・項こり
麻黄附子細辛湯	4例(3.3%)	悪寒 倦怠感 咽痛
竜虎湯	3例(2.5%)	悪寒•鼻水•咳嗽
小青竜湯	3例(2.5%)	悪寒・鼻水・うすい痰
桂枝湯	2例(1.7%)	悪寒・わずかな発汗
大青竜湯	2例(1.7%)	悪寒・無汗・関節痛

症例 32歳 男性 主訴:ふしぶしの痛み

〔現病歴〕

2日前に悪寒、咽頭痛. 昨日37.2℃の発熱 全身の痛みと38.9℃の発熱で来院

〔身体所見〕

体温38.8℃. リンパ濾胞を伴った咽頭炎 172cm, 67Kg 血圧133/86mmHg, 脈拍92/分 胸腹部に異常なし. インフルエンザ(陰性)

症例 32歳 男性 主訴:ふしぶしの痛み

[経過]

初診日:発汗・熱感・ふしぶしの痛み

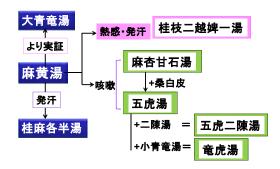
以上から 桂枝二越蜱一湯 処方

次の日:発汗・ふしぶしの痛みは改善. 37.7℃

咳嗽・喀痰が出現 **竹筎温胆湯** を処方

5日後:咳嗽・喀痰が軽快して終診. 学校へ出勤を許可

麻黄湯の近縁処方



症例 79歳 女性 麻黄剤が使えない

〔漢方所見〕

望診:肌は枯燥. やや肥満. 水太り

舌診:燥無苔,胖大,舌下静脈(+)

聞診:声が小さく艶がない

問診:咽頭痛は軽快.咳嗽,喀痰,頭痛が出現 食欲が落ちている

葛根湯服用にて食欲不振・不眠があった

切診:沈弱数脈.腹部軟

参**蘇飲** 原典:和剤局方 目標:胃腸虚弱・気虚の者の咳・痰・項のこり

蘇葉 前胡 葛根 桔梗

+ 枳実=行気消積

→麻黄の入らない葛根湯 清熱・解肌・鎮咳・去痰

人参·茯苓·甘草·半夏·陳皮·生姜·大棗

→ 六君子湯去蒼朮

補脾・益気・利水(胃腸虚弱・食欲不振)

症例 77歳 女性 主訴:悪寒・咽頭痛

〔処方〕 少陰病期 悪寒 倦怠感 以上から **麻黄附子細辛湯** を処方

〔経過〕翌日:朝36.5℃.

全身が温まった悪寒・咽頭痛が改善 鼻汁も改善したが倦怠感が残っている 5日目:36.0°C. 症状なく、食事も普段に戻った 治療終了

症例 79歳 女性 麻黄剤が使えない

〔主訴〕 感冒様症状

[既往歴] 関節リウマチ・骨粗鬆症(当院で治療中)

〔現病歴〕 2月13日咽頭痛が出現

15日には咳嗽, 喀痰も出現して16日に来院

[身体所見]37.3℃ 149cm 60Kg 133/69mmHg 脈拍94/分,整

〔検査〕 CRP 0.80mg/dl, ESR 4mm/時間

症例 79歳 女性 麻黄剤が使えない

[処方]

食欲低下・悪寒なし・熱感・沈弱数脈から虚証 **参蘇飲** を処方

〔2週間後〕

「風邪は1日でなおった」と

風邪を繰り返していたが、**参蘇飲** が飲み易い 予備の処方を希望

症例 77歳 女性 主訴:悪寒•咽頭痛

〔現病歴〕 一作日の朝から咽頭痛が出現 今朝37.2℃の発熱. 咳嗽と咽頭痛が出現

〔身体所見〕37.5℃. 155cm, 45kg.

血圧115/76mmHg, 脈67/分 咽頭発赤. 胸部聴診; 特記事項なし

〔漢方所見〕 痩身. 顔面蒼白

咳・咽頭痛・腰痛・悪寒・全身倦怠感 食欲が下少し落ちた、下痢・便秘なし 沈遅濇脈、腹部は軟弱、発汗なし

風邪症候群に対する 麻黄附子細辛湯の有用性

- 封筒法による比較試験
- 多施設共同研究
- 日本東洋医学会雑誌
 本間行彦 他
 第47巻第2号 245-252、1996

患者背景

		麻黄附子細辛湯	PL顆粒	
症例数		83	88	
男/女		36/47	48/40	
	重症	53	51	
重症度	中等症	28	36	
	軽症	2	1	

両群間に有意差なし

症状消失までの日数

				_
	麻黄附子細辛湯	PL顆粒	P値	
発熱	1.5 ± 0.7	2.8 ± 1.5	0.001	
熱感	1.8 ± 1.4	2.5 ± 1.5	0.021	
咳▪痰	2.5 ± 1.2	3.5 ± 1.7	0.034	
寒気	2.0 ± 1.1	2.8 ± 1.4	NS	

症例 69歳 男性

【主訴】 悪寒

【既往歴】変形性関節症

【現病歴】昨夜から咽頭痛があった.

今朝から悪寒, 頭痛, 咳嗽が出現.

X年11月16日来院

【現症】 体温37.6℃, 体重66.5Kg, 身長165cm.

血圧144/88mmHg, 脈拍90/分.

咽頭がわずかに発赤.

【西洋医学的治療】頭痛に鎮痛剤、咳嗽に鎮咳剤、発熱に解

熱剤,悪寒に??

症例 69歳 男性 処方と経過

【証】初診日(11月16日):

風邪の引き初め→**太陽病期**. 筋肉質→**実証** 頭痛, 項のこり, 浮脈から病態の主座はまだ表にある

葛根湯証

【経過】

11月18日:悪寒, 頭痛が改善

11月19日:体温36.2℃

完全に回復して治療終了

症例 24歳 男性 急性副鼻腔炎

[漢方所見]

望診:体格良好. 左頬部から眼窩周囲の軽い発赤 痛みのために不快そうな表情

舌診:燥,黄白苔,歯痕(+),舌下静脈(±)

聞診:鼻声

問診:普段の体力・食欲良好

昨日朝から頭痛(<u>左前頭部から鼻梁の痛み</u>) 鼻閉があり, 鼻咽腔に<u>濃い鼻汁</u>が落ちている

悪寒なく<u>熱感</u>

切診:滑数脈 腹力中等度

麻黄附子細辛湯(傷寒論)

麻黄·附子·細辛

〔生薬構成の意味〕

附子が熱薬で鎮痛 麻黄は温薬・燥性で鎮咳 細辛も温薬・燥性薬で鎮痛・麻酔・平喘の作用

[何を治す] 悪寒 倦怠感 咳嗽 咽頭痛

〔証〕 湿潤した淡白舌苔 沈細脈 腹部軟弱

少陰病期 陰虚証

[臨床応用]感冒 花粉症 寒冷蕁麻疹

神経痛 関節痛

症例 69歳 男性 漢方所見

【望診】年の割には**筋肉質で体格がよい** 気分が悪そうな表情

【舌診】 薄い白苔, 舌下静脈(+)

【聞診】喘鳴なし

【問診】頭痛、悪寒、項のこり、

咳嗽

発汗なし 咽頭痛なし

【切診】浮滑数脈 腹力良好

症例 24歳 男性 急性副鼻腔炎

〔主訴〕 頭痛

[現病歴] 4日前の朝から咽頭痛, 悪寒

3日前の夜39.5℃の発熱があり救急外来受診 A型インフルエンザと診断され、イナビルの吸入

解熱したが咳嗽, 喀痰が残存

[身体所見]顔面紅潮. 171cm, 68Kg. 体温36.4℃

昨日朝から頭痛が耐えられないと来院

症例 24歳 男性 急性副鼻腔炎

〔処方〕 熱証の副鼻腔炎から 辛夷清肺湯 処方

〔経過〕

3日目:この漢方薬を2回服用した時点で膿性鼻汁が

大量に排出

その後「頭痛、熱感が次第に軽くなってきた」と

5日目:頭痛なし,鼻汁少々,咳嗽なしで廃薬とした

辛夷清肺湯

〔生薬〕 石膏·知母·梔子·黄芩·升麻·辛夷·枇杷葉·麦門冬·百合

石膏~升麻は清熱(抗炎症) 辛夷は膿性鼻汁・鼻閉を治す 枇杷葉~百合は潤燥(分泌の促進)

[使用目標] 熟証(≒炎症)・膿性鼻汁・膿性喀痰

[臨床応用] 急性副鼻腔炎

(難治例では抗生剤と併用)

[合方] 合 排膿散及湯

= 鼻汁の排出を強力に促す

咳・痰と漢方

- 漢方薬は気道管支炎・肺炎の炎症を去る
- 鎮咳・去痰は西洋薬と併用する場合がある
- ・ 肺炎では抗生剤との併用は極めて有用

症例 56歳 男性

〔主訴〕 咳

[既往歴] 高血圧(エナラプリルで咳)

[現病歴] 2週間前に咽頭痛出現.翌日38.5℃の発熱.

救急外来受診

クラリス, ロキソニン, メジコン, ムコダインを10日間服用

激しい咳が続いて来院

〔身体所見〕 36.7℃. 168cm 75Kg 血圧142/86 脈拍80/分

咽頭乾燥. 胸部聴診上は問題なし

症例 56歳 男性

〔漢方所見〕 望診:咳嗽が強い 紅潮した顔色 体格良好 問診:咳で咽頭痛があるが,呼吸困難なし

切診:脈は浮沈中間,弦.腹診で皮膚枯燥

[処方] 乾性咳嗽であり, 既存の鎮咳剤無効 食前に麦門冬湯,食後にコデインリン酸塩

[経過] 3日後:咳嗽が軽くなった

1週間後:咳が改善. 便秘なし, 咽頭乾燥なし

麦門冬湯

〔生薬構成〕 麦門冬・半夏・人参・粳米・大棗・甘草

半夏は乾燥方向をもつが, 鎮咳作用・止嘔作用 それ以外の配合生薬は潤燥に働く

総じて咽頭・肺の粘膜を潤して鎮咳に働く

〔使用目標〕 発作性の激しい乾性咳嗽, 咽頭粘膜の乾燥

〔臨床応用〕 乾性・発作性咳嗽を有する気管支炎

(西洋薬の鎮咳剤との併用はことに有用) シェーグレン症候群の唾液分泌・涙液分泌促進

47歳 女性 主訴:咳

〔既往歴〕 小児期アトピー性皮膚炎。花粉症

〔現病歴〕 25歳時から気管支喘息の治療 抗コリン剤・ステロイドの吸入 発作時のPSL 20mg~30mg/日 3日前に感冒症状出現.

近医で風邪薬を投与 咳持続

[診断] 感染後遷延性咳嗽

〔身体所見〕166cm, 76kg. 血圧147/90mmHg, 脈96/分 体温37.6℃. 胸部聴診上piping聴取. SpO2 94%

47歳 女性 主訴:咳

〔漢方所見〕

望診:皮膚に色素沈着 発汗

(多年に亘るステロイド治療)

舌診:歯痕(++),薄白苔.舌下静脈(++)

聞診:喘鳴

問診:熱感,咳嗽,喀痰 食欲低下 口渴 排便・排尿に問題なし

切診:滑数脈 腹力良好



47歳 女性 主訴:咳

〔処方〕 熱証,発汗,咳嗽から 麻杏甘石湯 を処方 [経過]

2日後 :熱は平熱となり、発汗なし、咳嗽、喀痰が持続 麻杏甘石湯 を 五虎湯 に変更した

> 喀痰と口渇・食欲不振を根拠に 二陳湯 を追加 = 五虎二陳湯

5日後 : 「今まで服用した喘息の薬の中で一番効いた」と 1週間後:大きな発作までに至らずに改善して廃薬 その後:発作の前兆があると 五虎二陳湯 を服用

五虎湯

〔生薬構成〕 麻黄・杏仁・甘草・石膏・桑白皮

= **麻杏甘石湯** + 桑白皮

桑白皮は喘鳴を治して喀痰・咳嗽を鎮める

麻杏甘石湯に加える方義は鎮咳、去痰の効果を増強し、

さらに麻黄の胃に対する作用を緩和する

〔使用目標〕 麻杏甘石湯より咳・呼吸困難が強い. 少痰

〔鑑別〕麻杏甘石湯:より熱証.より少痰 麦門冬湯 : 発作的乾性咳嗽

:咳嗽と抑うつ状態・胸脇苦満ある場合 神秘湯

症例 43歳 女性 主訴:上腹部痛

〔漢方所見〕

望診:体格良好. 上腹部を押さえて咳をしている

舌診:燥白苔,歯痕(±),舌下静脈(+)

聞診:湿性咳嗽

問診:痰を排出するために咳をしている感じ

食欲なし 咳をすると上腹部から胸部が痛い

切診:滑数脈 心下痞鞕 胸脇苦満

〔処方〕咳と胸腹部痛・腹診 → 柴陥湯 1週間分

[経過] 服用5日目でほぼ改善.1週間で廃薬

症例 76歳 男性 主訴:全身倦怠感

[既往歴] 肺気腫(閉塞性肺疾患)

〔現病歴〕 12月27日にインフルエンザに罹患して近医受診

(タミフル, カロナール, フスコデ, フスコデ)

翌年1月13日37.2℃程度の微熱, 盗汗, 咳が持続

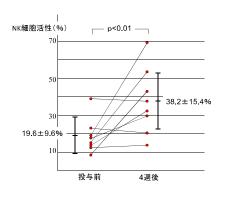
全身倦怠感が強くなった,と来院

〔身体所見〕 37.4℃ 158cm 47Kg 血圧112/66mmHg 脈88/分

聴診上胸腹部に問題なし

〔検査所見〕 胸部レ線で肺気腫

図2. 補中益気湯が臨床上有効であった症例のNK細胞活性の推移



症例 43歳 女性 主訴:上腹部痛

[既往歴] 胆石の手術

[現病歴] 9月5日ごろから風邪症状が出現

> 近医から抗生剤、解熱剤、鎮咳剤など処方された 9月10日熱は37.2℃程度だが咳・痰が残存

上腹部痛が辛いと言って来院

〔身体所見〕 37.4℃ 155cm 62Kg 血圧130/76mmHg 脈87/分

聴診上胸腹部に問題なし

[検査所見] WBC 6400/µl CRP 2.23mg/dl ESR 30/h

柴陥湯

〔生薬〕 柴胡·黄芩·半夏·人参·大棗·甘草·生姜·黄連·栝楼仁 柴胡~生姜が小柴胡湯 半夏・黄連・栝楼仁が小陥胸湯 合方して小柴胡湯加黄連栝楼仁 陥胸とは胸部・上腹部の張りと重苦しさをいう

[目標] 胸痛・上腹痛を伴った咳嗽・胸脇苦満・心下痞鞕

〔鑑別〕 麻杏甘石湯:咳嗽・呼吸困難・発汗

当帰湯 : 冷えと胸部・上腹部痛

麦門冬湯 : 咽喉乾燥. 発作性の激しい咳嗽

症例 76歳 男性 主訴:全身倦怠感

〔漢方所見〕 望診:目に力が無い

聞診:か弱い声

問診:風邪の後はいつも回復が遅い

寝汗 気力喪失 食欲不振

切診:弱脈.腹部が軟弱

[処方] 補中益気湯

[経過] 1週間で体調が回復

寝汗なし 胃腸の具合がよい

しばらく継続として気力・体力良好

補中益気湯(脾胃論)

〔生薬構成〕 人参·黄耆·朮·当帰·柴胡·大棗·陳皮·甘草·升麻·生姜

人参·术·甘草·生姜·大棗=四君子湯去茯苓 人参·黄耆=参耆剤

総じて気力・体力・胃腸機能の低下を目標とする

〔使用目標〕 全身倦怠感,食欲不振,盗汗,微熱 脈は洪大無力, 浮弱. 腹力軟, 軽い胸脇苦満

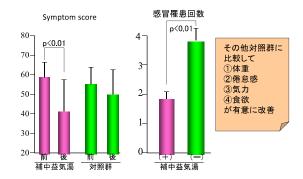
〔漢方所見〕 裏寒虚証 気虚・脾虚・表虚

[臨床応用] 気力減退 食欲不振 感染後の遷延性病態

肝炎 肝硬変 各種の消化器疾患

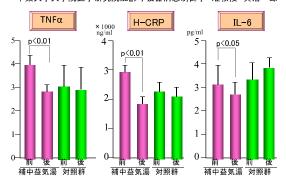
COPDに対する補中益気湯

千葉大学大学院医学研究院加齡呼吸器病態制御学 准教授 異浩一郎



補中益気湯の免疫改善(COPD)

千葉大学大学院医学研究院加齢呼吸器病態制御学 准教授 異浩一郎



咳嗽・喀痰の漢方薬

性状	漢方薬	使用目標
乾性咳嗽	麦門冬湯 滋陰降火湯 神秘湯 柴朴湯	発作性咳嗽・咽喉乾燥 夜間の咳嗽とほでり 気うつ 睡眠中は咳嗽がない
薄い痰	小青竜湯	水溶性鼻汁 花粉症
痰が絡む	五虎二陳湯 竹筎温胆湯	長引〈咳 微熱・精神系の興奮
膿性痰	清肺湯	肺の炎症状態